

## ■春季ウォーク 4月1日(土)

「桜 社寺と古墳の里をめぐる」をテーマに、ふじいでら春季ウォークを開催しました。今年の開花は遅くちらほらの桜ではありましたが、前夜からの雨もあがり、道明寺天満宮を起点に藤井寺市北部の古墳(津堂城山古墳)や寺社(潮音寺、伴林氏神社)などを巡る約7kmのコースを、150人が楽しめました。

潮音寺では平安時代に孝養を尽くした衣縫孝女(いぬいこうじょ)の石碑と、中興の祖・独長禅師(どくちょうぜんじ)が描いた釈迦涅槃図を拝観。涅槃図を初めて見る方が多く、閻魔大王の審判に際して「涅槃図を見たと言えれば極楽に行ける」と紹介すると、これだけで参加した値打ちがあると大変喜ばれていました。

大井ふれあいランド北側の遊歩道は桜のトンネルになるはずでしたが、残念ながら未だ蕾。目線を下げて道沿いのユキヤナギを眺めていると、白い花に混じってピンクの花が2、3枝咲いています。突然の訪問客にはにかんだ衣縫孝女がポッと頬を染めたかのようです。市内から母子で参加された方は、母親の健康を気遣い30年ぶりに同居の予定だそうです。一緒に歩く。ただ、それだけで二人とも喜びが滲み出ていました。

ウォーキングの目的は人によって異なります。歴史だけでなく、普段着の藤井寺を紹介することも大切と感じた一日でした。最後になりますが、本ウォークにご協力頂いた皆さまにお礼申し上げます。

(2017/4 古川)

